

戦略総務推進委員会

1. 構成員
- | | |
|------|----------------|
| 委員長 | 篠原 翔 |
| 副委員長 | 池田知明 田島 亘 |
| 委員 | 鈴木大樹 中川翔子 長棹万岳 |

1. 予算額 未 定

1. 運営方針

ここ数年、飯能青年会議所では在籍年数の短いメンバーが多くなっており、今後 JC について詳しく知る時間を取れないまま役職に就くメンバーが増えることが考えられます。こうした状況で運動展開を進めるためには、過去の経験やノウハウを共有することとメンバー間のコミュニケーションを増やすことが重要です。そのためには、組織の在り方、運営の仕方を見直す必要があります。

本年度の戦略総務推進委員会は、経験の浅いメンバーでも第一線で活動できる体制を構築します。まず JC 手帳については完全デジタル化を行い、スマートフォンからいつでも参照できるようにすると共に、これまで手帳に掲載しきれなかった情報も共有することで、困った時の手引きとして使えるようにします。データベースは飯能青年会議所のこれまでの活動や手帳に掲載しきれないノウハウを共有するために作成しますが、現役メンバーだけでなく OB の力も借りる必要があるため、準備の一環としてメンバー、OB がこれまで積み上げてきた飯能青年会議所の歴史を学び、またメンバーと OB の、コミュニケーションの創出を目的とした例会を設定します。他にも内部報「548」により出向者の情報共有や現在の活動やメンバーの人となりを知ってもらうことで、メンバーのコミュニケーションが円滑に、積極的に行えるよう取り組みます。さらに、総会や例会の資料はクラウドをはじめとしたデジタルによる情報共有を積極的に行います。

JC 手帳のデジタル化やデータベースの構築により、メンバーがより深く、手軽に飯能青年会議所について学べるようになります。また、548 によりメンバーや出向に関する情報も得られるようになることで、メンバーのみならず OB とのコミュニケーションも促進され、より強固な組織になり、より力強く青年会議所運動を展開できるようになると確信します。

1. 事業計画

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ① 総会担当(新年通常総会・夏季総会・冬季総会)※例会扱い | |
| ② 例会 4 回(3 総会 4 月例会) | ⑧ 内部報「548」の発行(年間 12 回発行) |
| ③ 総会資料の作成 | ⑨ 出向者支援 |
| ④ JC 手帳の作成 | ⑩ 各種案内状・お礼状の手続き |
| ⑤ 日本 JC 各種大会の出席準備及び手配 | ⑪ 優良出席者褒章 |
| ⑥ JC ルームの管理 | ⑫ 飯能新緑ツーデーマーチへの参画 |
| ⑦ 組織内コミュニケーション創出 | ⑬ デジタルデータベースの構築 |